



**不倫上手の  
人妻さん♡**

ニシカタさんトコの奥さんは  
他人ち○ぽに  
無我夢中♡♡

好きになっちゃった♡

ごめんねあなた♡  
わたしこのひよん...

「ただいま〜」

「おかえりなさい  
あなた」



「あらっ？」

「お客さま？」

「うん、後輩」

「お邪魔します  
奥さん」



「近くまで一緒でね  
飯でも、って  
誘ったんだ」



「急にすみません」



あれ、どうしたんだろ？  
声の上擦って、様子がおかしい？

風邪ひいたのかな？

「んっ……！」

「う…  
うん、じゃあまかせ…」

「んっ……！」



「？、大丈夫？」

「あ、うん  
平気、うん」

「んっ……！」

「んっ……！」

「んっ……！」

shinobu

心配したけど体調は良さそうだった  
初対面で緊張したのかな？

「え、うそ〜」

それにしても短時間で  
ずいぶん仲良くなったな

「5分くらいだよ」

「なんか話が合うの  
フッフ♡」

「ほら、これ  
見てくださいよ」

「うっそだ〜  
エアアイでしょ〜」

「だから、  
ホントだってw」

って言うってたけど、  
ほんっっど…盛り上がりすぎてな…

つていうか……  
距離……近いな……

「マジでかわいいいんすよっ  
今度ちゃんと見せますんで」  
「ほんと〜?」  
「ほんとにほんと〜?」

「今度〜って〜?」  
「いっ〜?」

「うわ、  
ウザがらみっ」  
「ブブミ」

「ほら、これなんかも  
ほら」  
「ん〜  
どれ〜?」

でも、焼きもちのみつともないよな  
うん、連れてきたのおれだし  
うん、仲良くなったんだ  
いっ〜って〜って〜うん……

ちよっど……  
妬げるかも……



「あがったよ〜」

「あ、うん」

「またライン？」

「うん」

「そっか……」

「あ、明日からの出張を」

「え、うんうん」

あの日から毎日  
彼とラインしてるけど……

随分気が合うんだな

まあ、出張で寂しい思いをさせるから  
話し相手がいてちよぶどいいかも



「ふふ♡」

「うんっ♡」

「おじやまじまじ」

ドキドキ

彼のこと、呼んじゃった  
あのひとに内緒で  
あのひとのいない家に



「さ、上がって？  
ねっ？」

「ちよ、待って  
待ってw」

キ、キ、キ

だって…一目惚れ？  
こんなこと初めて…♡

「奥さんっ♡」

あんっ、もうっ、入っですぐっ？  
…誘ってたのバレちゃったかな？  
わたしったら、こんな薄着で、フフ



「あんっ♡」

さわさわ

さわさわ







おっおっ

スルッ

おちぢん

おちぢん

おっ

スルッ

うっん...  
まあ、だいぶ時間も空けたし  
そろそろ大丈夫かな？



さっきはなんだったんだろ...？

おっ

おっ

スルッ

おちぢん

おちぢん

おちぢん

おちぢん

「んっ♡」

「ちゅっ♡」

「れろっ♡」

「ちゅっ♡」

「むちゅっ♡」



「ちゅっ♡」



「ちゅっ♡」

「ちゅっ♡」



「ちゅっ♡」

「んっ♡」

「先輩でしよ？」

「んっ♡」

「出たら？」

「ちゅっ♡」

「んっ♡」

「ちゅっ♡」



「ちゅっ♡」

「ちゅっ♡」



『もしもし?』

「あっ!」

「やっと出た!」

「よかったあ」

「心配したよ」

「ずっとかけてるのに」

「全然出ないから」

「ごめんね、あなた♡」

わたし今…

びんぽんぽん

あなたの声を聞きながら  
他の男のひとに抱かれてるの♡

「なんかあった?  
大丈夫?」

「ううん  
なんでもないの」

「でも、なんか  
息が荒いし」

「え、そう?」  
うん…んっ♡

何度も何度も  
繋がっちゃったの♡

びんぽんぽん

ぐちゃぐちゃ

ぐちゃぐちゃ



『そっかあ……』

『でもね、  
ひとりじゃ大変だよ？』

『帰ったら一緒にやる？  
だから……ん？あれ？もしも？』



『もしもし?』

おろろ

『あれ、また始めちゃった?』

『そんな大声で』

『気合入れなくても』

ばちゅん

『帰ったら手伝うってば』

ね、あれ、聞いてる?』

ばちゅん

んあ

んあ

ん!!

ん

「もしもし?もしもし?」



「んっ  
帰っちゃうのぉ?」

はあっ

すま

「さすがに  
少しは寝とがんと」

「やいせみっす♡」

「さあ、服を脱いで  
帰ろうよ」

「んっ♡」

「陰部擦りつけんな  
スーツ汚れる」

チーン♡

おっ、もっ

いじわるっ♡」

すぐかったあ……♡

彼くんに比べたらあの人のセックスはお遊戯W

「うたく

「しゃあねえな」

「これ射精したら  
帰るからな」

ズンズン♡

「あっ

「ああっ♡」

「んっ

「んああっ♡」

もう、離れられないよお♡

ばちん♡

ふふ、廊下……

「んっ♡」

「おおっ♡」

ばちん♡

わたしの液で  
びしょびしょになった♡

なんか。。。最近、様子がおかしい。。。

「あなた  
いつてくるね♡？」

どき、

「ちよつと  
遅くなる。。。かも？」

どき、

出かけることが多くなった  
以前はほとんどなかったのに  
今は週一だったり週二だったり

そして帰ってくれば必ず  
衣服が乱れて、体が火照って、息が荒くて、呂律も怪しい

「た、ただいまあ。。。♡」

はあ

はあ

はあ

どき、

どき、

なんだろう。。。あんまり詳しく聞くのも  
気が引けて。。。でも、まさか、まさかなあ。。。

疑うわけではなりたいけど...  
いや、ほんと全然疑ってないよっ?

「ふんふん」

「ハハハハハハ」

でも...  
やっぱりおなじになる...

まなび...



スマホを...

「♪」

まさか...



はは、まさかな...

まさかが...

ズ...

きた...

ズ...





求め合い、重なり合うふたりの姿が浮かんでくる...

だめだ...

- めっちゃ乱れてたじゃんw

だってえ  
すごかった...♡
- 満足した?

...  
もうシたい♡
- どんだけw  
先輩にしてもらえよw

きみがいいの♡  
きみのじゃなきやっ♡
- 今週もう2回も会ってんぞ  
さすがにやべえだろ

大丈夫  
あのひと鈍いしw
- じゃ、あれ言え

きみのおちんぽお  
わたしのおま〇こでバックパク~♡
- バカだコイツww

『どう？先輩のと較べて？』

『ぶぶ、おしきらい♡』

『俺のちんぽのほうが好き？』

『大好き♡』

『ちやんと言ってる？』

『彼くんのでかでかおちんぽ  
だいちゅきらい♡』

『じゃ、ぽらすりしてよ  
あ、貧乳じゃ無理かWメンロW』

『あ、ばかにしてえ  
ちやんとどきぬるおちんぽ？』

『うん、うんどっもっ』

『あ…』

『なんか…いめんW』

『むかつくっ』

『絶対イかせてやるっ！』

じやれ合って軽口をたたきあうふたり  
絵に描いたような恋人同士のいちやいちゃ...

「はやくイってほらあ♡  
おちんぽおお♡」

ぢゅぽ♡

ペロオ...

「精子くん

ぴゅっぴゅっってえ♡」

こんな媚びた顔、おれは見たことがない...  
こんな卑猥な言葉、官能的な声...聞いたこともない



ぢゅぽ♡

ぢゅぽ♡

ぢゅぽ♡

ぢゅぽ♡

うそだ...信じられない...

中学のころから知っていたのに  
ずいぶんずいぶん合ってきたのだ...

『ぶはあ♡』

『いねぇい♡』

『又いちゃいました〜！  
わたしの勝ち♡♡』

『口でむりやり抜いたんじゃねえかW  
最後貧乳使ってなかったぞW』

『負け惜しみ〜W』

『くっそW』

『ひいひい言わせたるっW』

『ああんっ♡W』

「ね、ねえ……」

「ふんふん♪」

「ん？なあに？あなた」



「あの、これ……」



「どういふことがなつて……」

「あ、でもあれかな？  
ほら、エーアイ？」

「いつものいたずらでわっ？」

「最近は何んでも  
できるし、ね？そうだよな？」

「おれのいふ  
からかおうとして……ね？」

あゝあゝばれちゃった……

ばいばい  
んんん  
♡

ハムハム♡♡♡

ハムハム♡♡♡

おっおっ  
♡♡

おっおっ  
♡♡

んんん  
♡♡

離婚も覚悟したけど  
でもあのひと別れたくないって  
まあ、わたしもいまのとうし……  
だから……♡



